

さめがわ村

No
147

平成29年2月

みんなの 議会だよ

題字：青生野小学校
4年 長井 友莉花さん

12月定例会

初の住民と議会の 公開セミナー … 12~13

石井草地内村道舗装工事額変更など可決!
12月定例議会 …… 2~5

一般質問に5議員登壇 …… 6~11

追跡! どうなったっぺ?
あの一般質問 …… 14

村民の広場 …… 15

ふるさと鮫川への想い …… 16

よいしょ〜! よいしょ〜!
か合わせてお餅つき!!
こどもセンター 「だんごさし」

活力ある住みよい村づくりの推進

村議会議長 星 一彌



あけましておめでとうござ
います。

希望に満ちた平成29年の新
春を、晴れやかに迎えのこ
とと、心からお喜び申し上げ
ます。

村民の皆様には、常日頃よ
り村議会に対し、深いご理解
とご協力を賜わりまして、厚
く御礼申し上げます。

村の更なる発展のため、努
力してまいりたいと決意を新
たにしております。

昨年を振り返ってみます
と、前半は降雪・降水量が少
なく、夏に猛暑が続ぎ、農作
物に育成障害が出たり、井戸
水量が懸念される等、異常気
象が生活面にも大きく影響し
ました。一方、日本各地で記
録的な豪雨により河川が増水
し、甚大な被害をもたらし
た、全国規模による異常気象
の一年でありました。

このような中、2014年
日本女子アマチュアゴルフ選
手権に優勝した本村在住の蛭
田みな美さんは、昨年7月に
山口県で行われた日本女子プ
ロゴルフ協会の最終プロテス
トに見事、合格されました。

また、11月に千葉県で行われ
たシード権を争うファイナル
クオリファイイングトーナメン
トにて上位の成績を収め、2
017年日本女子ツアーの大
部分に出場できることとなり
ました。村民初の女子プロゴ
ルフアールの誕生は、私たち村
民にスポーツを通じて、夢と
希望を与えてくれました。

さて本村におきましたは、
東日本大震災からまもなく6
年が経過しようとしても未だ
残る風評被害や全国的に進む
人口減少問題等、多くの課題
を抱えております。

特に人口減少対策は、喫緊
の課題となっており、移住定
住を図るため、これまで高校
生までの医療費無料化や幼稚
園入園料・授業料の無料化、
結婚祝い金、紙おむつ支給事
業、空き家バンク制度の導入
等を行ってきました。

今年度より、村内に居住す

る高校生の家庭の経済的負担
軽減と子育て環境の向上のた
め、高校生通学支援金を開始
しました。同時に、修明高校
鮫川校は村の活性化に大きな
役割を果たしており、地域に
根ざした鮫川校としての存続
のため、村外生徒通学支援金
を実施しております。29年度
の鮫川校の入学説明において
も、本事業は好評を得てお
り、事業計画のなかった2年
前を上回る入学希望者が見込
まれているようです。今後、
村と鮫川校の更なる交流や子
育て支援の新たな展開に期待
するところであります。

移住定住による人口減少対
策は簡単ではありませんが、
議会活動を通じて、本村の魅
力を広めながら、安心して暮
らせるよう、活力ある議会、
活力ある住みよい村づくりを
推進していく所存であります
ので、なお一層のご支援ご協
力を賜りますよう、心からお
願い申し上げます。

結びに、村民の皆様にとつ
て、実り多き年になることを
ご祈念申し上げ、新年のごあ
いさつといたします。

役場の各課編成でスリム化へ

12月補正予算の状況

会計別		補正額	補正後の予算額
一般会計		7836万円	32億69万8千円
特別会計	国保		
	事業勘定	272万3千円増	5億4179万円
	直診勘定	0円	7136万1千円
	簡易水道事業	0円	1億1670万9千円
	村営バス事業	0円	1100万2千円
	介護保険	164万1千円増	4億6394万円
	交流施設	16万円減	1602万1千円
	学校給食	45万6千円増	1億717万6千円
後期高齢者	34万6千円減	3505万7千円	
合計		8267万4千円増	45億9855万7千円

補正が行われた9会計。国保直診勘定、簡易水道事業、村営バス事業会計の総額は変わらず内容が変更されました。

12月補正予算の主な事業

歳出	
地方振興費 (集会施設改修事業補助金)	100万円追加
臨時福祉給付金給付費	925万5千円追加
社会福祉総務費 (繰出金 国保特別会計事業勘定)	235万4千円追加
農村交流施設費 (繰出金 交流施設特別会計)	230万円追加
農村振興費 (山王の里外壁等改修工事費)	252万3千円追加
災害復旧費 (公共土木施設災害復旧工事費)	1645万円追加
災害復旧費 (農業施設災害復旧工事費)	2720万円追加
歳入	
地方交付税	3000万円追加
公共土木施設災害復旧事業国庫支出金	1064万2千円追加
臨時福祉給付金国庫支出金	1039万円追加
農地等災害復旧事業費補助金	2288万5千円追加

12月定例会のあらまし

12月定例会が12月7日から9日までの3日間の会期で開催されました。第1日目に、一般質問を行い5議員が道の駅基本構想や小中学校における緊急時の危機管理体制などをとりあげ、村政をただしました。また、工事請負契約の変更に係る専決処分報告の後、農業委員及び農地利用適正化推進委員の定数を定める条例や6課制を5課制とする課設置条例の一部改正を含む条例7件、平成28年度補正予算9件、工事請負契約の変更1件の提案理由の説明がありました。



大樂勝弘 村長

最終日に、審議した条例、補正予算、工事請負契約の変更を、原案のとおり可決し、閉会しました。

第2日目に、総務文に、総務文教常任委員と産業厚生常任委員会の合同議案調査を開き、議案を審議しました。



工事契約額が変更になった村道新宿古殿線(石井草地区)

提出議案の説明を求める!!



総務文教委員会・産業厚生委員会の議案調査

石井草地内舗装工事額 変更など集中審査

議案調査は二つの常任委員会が合同で委員会を開催し、各課長や担当職員より提出議案の各事業の説明を受け、提出された事業計画が適正かを慎重に調査をしました。この議案調査は事業計画に賛成または反対の意志決定をする大事な調査となります。

総務文教 常任委員会

問 農林商工課の新設の目的は

答 現6課を5課にする(1)と、業務の効率化を図る

問 集会所補助金の内訳は
中野区集会所改修工事に100万円支出

問 財産管理費積立金は
ふるさと納税113万円を財産管理積立金

問 需用費の内訳
役場玄関の自動ドア
修繕工事と暖房設備
修繕費

問 道の駅構想策定事業の予算増の内訳は

答 公募の策定委員会の回数の増による報償費の増額

産業厚生 常任委員会

問 農業委員会の定数改定は

答 農業委員は8人、新たに農地利
用最適化推進委員7名を村長
が任命する

問 測量業務の委託料は
水口住宅の地滑り、擁
壁測量業務170万円

問 土木災害復旧工事は
道路1箇所河川2箇所
1645万円

問 農地災害復旧工事は
田、畑、農道、水路16箇所
2720万円

問 村道石井草地内の舗装
工事契約変更の理由

答 ※アメリウレタン工法
による2700万円増

問 銚木田配水池工期遅
延の理由

答 立ち木伐採の遅れと
業者の仮設不備により
労基署から工事停止
となり工期が遅延

補助金を受けて改修される中野区集落センター



平成27年度に工事が遅延した銚木田配水池。今年度は順調に工事進捗中



※アメリウレタン工法
排水性舗装に弾性のあるウレタン樹脂を
充填させた凍結防止
舗装。

正算 補予

道の駅構想 慎重に 村民の意見を聞くべき

平成28年度一般会計補正案と特別会計補正案は賛成多数で可決承認されました。
採決（賛成か反対かの意志決定）の前に三名の議員より質疑があり、大樂勝弘村長が答弁いたしました。

手・まめ・館、すまいるの運営を踏まえ 総合的な基本構想を望む



村民参加の中心街活性化検討委員会

【質疑】北條 利雄 議員

地域づくり推進事業の策定委員会で中央活性化のための構想策定であるが、「道の駅」とするインパクトの強い呼称とは別に、基本となる構想策定は必要。策定委員の議論に止まらずに幅広く村民の意見を聴取し、肉付けする必要がある。既存施設の経営財政状況を踏まえ検討すべきだが。

【答弁】村長

災害の拠点、生活の拠点、イベントの拠点づくり、雇用の創出などの構想を策定する上で有利な事業を活用するため「道の駅」とした。「手・まめ・館」や「すまいる」は当初の目的は十分果たしていると考える。これらを踏まえて将来の中央活性化を図る策定委員、

村民の意見を基本に構想を策定する。

【質疑】京條 英征 議員

道の駅構想については策定委員会で意見集約中である。中心地域の活性化が重要なのは分かるが、このような事業は1年ぐらいかけて検討し、村民もこれなら必要だと言えるまで議論を重ねてコンサルタントに委託すべきではないか。交付金といえど税金に変わりは無い。慎重に使うべき。

【答弁】村長

自主財源に乏しい村にはその通りの指摘である。国交省の予算を導入するために道の駅の名前を使わせていただくが、大きな広場であり避難場所にもなる施設の創出をそのような場所の創出を

村が率先してやるとの考えであり、決して税金の無駄使いではない。

【質疑】前田 武久 議員

ほっとはうすは平成6年3月に葉貫に2億1千万円で都市交流施設として議決された。当時私は湯之田地区さざり荘を改修し、宿泊併用施設にすべしと反対した。以来財政支援にも関わらず手数料減により補正した。今後の改善の見通しはどうか。

【答弁】村長

宿泊施設が少ない村として、継続を考えている。

大幅な手数料収入減は申し訳ない。今後も指導して応援したい。

【再質疑】前田 武久 議員

何度も民間移譲をと申してきた。毎年1千万近い財政持ち出しがあり、思い切った決断時期に来ているのでは。

【答弁】村長

29年度の経営状況を見て支えきれなくなったら民間移譲を考えたい。

各議員による採決結果

議員名	各条例案	28年度補正	
		一般会計	特別会計
遠藤 貴人	○	○	○
堀川 照夫	○	○	○
北條 利雄	○	○	○
京條 英征	○	○	○
関根 英也	○	○	○
前田 雅秀	○	○	○
関根 政雄	○	○	○
前田 武久	○	△	□
宗田 雅之	○	○	○

○=賛成

△=反対

□=特別会計の交流施設のみを反対

ここが聞きたい!

議員5人が登壇

村政をただす!!



(鈴木 一輝くん)

北條 利雄 議員

P7

- ① 平成29年度予算編成方針と公開
- ② 子育て就学前児童への経済的支援
- ③ 学校給食費と児童クラブへの支援



(舟木 蒼くん)

関根 政雄 議員

P10

- ① 防犯強化の村づくり
- ② 青生野小学校の統合
- ③ スポーツ少年団の支援策



(松本 洗優くん)

宗田 雅之 議員

P8

- ① 湯の田温泉の今後の振興策
- ② 定住化と生活道の改善策



(藤元 颯太くん)

遠藤 貴人 議員

P11

- ① 小中学校における緊急事態発生時の危機管理体制



(高野 蕉伍くん)

前田 武久 議員

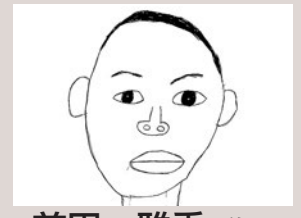
P9

- ① 道の駅、学習館建設の基本構想
- ② 森林資源の活用と助成

出席議員



関根 英也 議員
(本郷 芽生さん)



前田 雅秀 議員
(高野 朱莉さん)



こども議会でも頑張るぞ〜

鮫川小学校3年生の皆さんににがお絵を描いていただきました



京條 英征 議員
(鈴木 海晴くん)



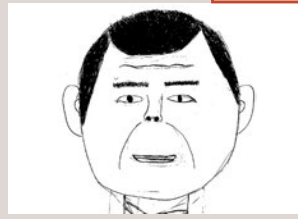
堀川 照夫 議員
(須藤 絢さん)

議会の進行



星 一彌 議長
(野崎 結生くん)

答弁者



大樂 勝弘 村長
(舟木 棕音さん)



奥貫 洋 教育長
(石井 陽南乃さん)

出席者



白坂 利幸 副村長
(須藤 充稀くん)



北條 利雄 議員

問

平成29年度予算編成方針と公開を伺う

答

予算編成方針は、ホームページで公開する

質問

予算策定の中で、本村財政の今後の見通しを伺う。厳しい財政状況下でも、村民目線を基本に、村民の日々の暮らしを着実に支え実感できる村づくりが必要。振興計画や総合戦略の実現に向け、中長期的な施策展開を見据え、一層の創意工夫、村民ニーズを的確に捉えた効率的で実効性の高い、着実な取り組みが必要。予算編成方針の全体骨格、基本方針、重点施策を伺う。安易な前例の踏襲や業務改善改革を実践し、担当部局で達成したい目的を明確にし、メリハリのある編成が必要。次年度への方向性を村民に示し、公開すべきと思うが所見を伺う。

答弁(村長)

収入は、人口減少による地方交付税や地方税の減収。歳出は、物件費等の増加。債務は、地方債の償還による減少。積立金等は、財源不足による財政調整基金の取り崩しで微減が見込まれる。予算編成

は、振興計画等の計画目標に合わせた重点化を図る。多様化・高度化する事業に対応した効果的・効率的な運営、財源の確保、事務事業の見直し、費用対効果、緊急性や優先度を見極め諸施策を進める。予算編成方針は、ホームページで公開する。(詳細方針は鮫川村ホームページで閲覧頂けます。)

子育てや就学前児童への経済的支援策を伺う

状況を勘案し負担軽減を図る施策をすすめる

質問

就学前児童については、幼稚園と保育園が一体となり、他の自治体に誇れる先駆的な事業を展開している。保育料も軽減され、幼稚園使用料も無償化されている。幼児送迎バスは、使用料が長年見直しながされず推移している。保護者の負担軽減により、安心して子どもを産み

育てる環境づくりを推進すべき。幼稚園使用料・送迎バス使用料・給食費の無償化や軽減策を講じる時期である。総合戦略でも「就学前教育の充実」や格差是正のための「保育料等を低減する」とあり具体的な考え方や方策を伺う。

幼児送迎バスは、就園幼児の2割程度で減少傾向にある。自家用車送迎とのバランスから受益者負担はやむを得ない。幼稚園就園に係る負担軽減の措置は、入園料や授業料を無料化し一定の支援を実施。給食費も低額に抑えており、財政的負担等の影響を勘案し現行通り。就学前教育の充実には、支援事業計画を基本に、一貫性あるカリキュラムにより充実に努めている。保育料等も国基準の3分の1程度の低額にしている。子育てや就学前児童への経済的支援は、財源確保に努め可能な限り継続する。

答弁(村長)

学校給食は、古殿町との受委託、その成果が着実に浸透運営され、食を通じて地産地消の給食づくりの努力がある。給食費は、材料費の価格や消費税の影響があるが、負担割合は長年平準化で推移し見直しが無い。保護者の経済的支援は勿論、児童生徒の「食の負担軽減の環境整備」は課題。見直し時期が到来している。児童クラブは、放課後の遊びや学習、生活の場を提供している。女性の社会進出や活躍による不在、家族の高齢化による家庭の状況がある。総合戦略は小中学生への就学援助費の充実があり、その具現化する経済的な支援策を適用すべき。青生野小の児童クラブの設置運営の必要性と考え方を伺う。

再質問

総合戦略で計画されている、経済的支援策を具現化する必要がある。

問 小中学生への経済的な就学支援策を伺う

答 少子化対策や子育て支援として見直しが必要である

質問

学校給食は、古殿町との受委託、その成果が着実に浸透運営され、食を通じて地産地消の給食づくりの努力がある。給食費は、材料費の価格や消費税の影響があるが、負担割合は長年平準化で推移し見直しが無い。保護者の経済的支援は勿論、児童生徒の「食の負担軽減の環境整備」は課題。見直し時期が到来している。児童クラブは、放課後の遊びや学習、生活の場を提供している。女性の社会進出や活躍による不在、家族の高齢化による家庭の状況がある。総合戦略は小中学生への就学援助費の充実があり、その具現化する経済的な支援策を適用すべき。青生野小の児童クラブの設置運営の必要性と考え方を伺う。

答弁(村長)

事業計画や消費税の見直し時期等を勘案し負担軽減を図る施策をすすめる。

答弁(教育長)

給食費は、両町村の単価を統一するために安い単価を、材料費は、質を低下させないため高い単価を、その差額を両町村で補填している。材料の価格や消費税増税の影響分は、補填額を増額し価格の維持に努めてきた。多くの自治体で少子化対策や子育て支援として軽減が実施されており、いずれ見直しが必要。

児童クラブは、利用料金が高いとは考えていない。青生野小については、要望に応じて今後検討する。



児童クラブを実施中の鮫川小学校



宗田 雅之議員

問 湯の田温泉の今後の施策は

答 周辺の環境整備から進めていく

質問

様々な施策が検討された、湯の田温泉の利活用策であるが、今後どの様に進めて行くのか。施策の進め方によっては、雇用の拡大に繋がると考えるが。

答弁(村長)

検討委員会での提言を今後の施策に活かしていきたい。まずは周辺の環境整備から進めていく。

再質問

現状、周辺の景観が、かなり荒れている状態であり、一日も早い整備が必要ではないか。

年々、人口が減少する中で、温泉などの、資源を活用した振興策は、集客や定住にも繋がると考える、早い対策をお願いしたい。

答弁(村長)

来年度、29年度の事業予算に反映させたい。



景観整備が急がれる湯の田温泉周辺

問 生活道路の改善策は

答 国庫補助などの利用を検討したい

質問

生活道路の整備は、人口減少が進む中、定住化を図る上でも大変重要であると考え。現在、路盤の傷みが激しく、危険箇所が多く見られる、一級村道で

ある官沢・西山線。村水道工事により、多くの歪みができた村道富田・山田線。以前にも何度か質している村道唐露・葉貫線の今後の修繕施工の計画、予定は。

答弁(村長)

官沢・西山線は、来年度に路面性状調査を実施したい。結果補修が必要であるとの判断結果が出れば、国庫補助事業により実施ができる。あわせてガードレールなどの安全施設の整備も実施したいと考える。富田・山田線は、平成25年に路面性状検査を実施し、結果損傷部分が局所的であるという評価のため、全面的な改修事業は国の補助金を受けられなかった。今後は、村の

単独事業であるが、地区の皆さんに迷惑がからないう様実施していく。唐露・葉貫線に関しては現状から考えると、多くの事業費がかかり、国の補助事業がなければ困難である。地区の皆さんの生活の利便性を支援する意味では大変必要な事業である。しっかりと国の補助金を付けてくれるよう要望活動をしていく。

再質問

住民の安全・安心を確保するためには、一時的な応急処置も必要では。

答弁(村長)

富田・山田線は、29年度の早い時期に村単独事業であるが、改修を急ぎたい。官沢・西山線は路面の性状調査の結果を待つて頂きたい。